

小笠原レース2023 外洋特別規定申告書

免責事項 インスペクターは、オーナーおよび艇責任者の完全かつ無制限の責任を制限または軽減することはない

艇責任者 宣誓	私はここに、「艇の責任者であること、およびこのチェックリストでチェックした全ての項目が関連する規定に適合していること、また外洋特別規定の1.02.1と1.02.2を読み理解していること」を宣誓します。	署名	楷書で氏名	日付
		艇名	セール番号	乗員数

※優先順位：以下のチェックリストは規定の要約である。すべての場合において、外洋特別規定の全文が優先される。

規定番号	OSR規定要約	艇責任者記入欄	インスペクター欄
チャートテーブルおよび外観上のレイアウト			
3.02.2	キールとラダーの検査の証明（内容を4ページ目に記載ください）		
3.03	艇がOSR3.03の艇体構造基準を満たすことの証明		
3.04.1	スタビリティの証明（ア・イ・ウのいずれかに☑）		
3.04.2	ア) ISOデザインカテゴリーA □ イ) ORC スタビリティインデックス110 以上 □ ウ) IRC SSS28 以上 □		
4.11.1	航海用海図一式（電子式のみは不可とする）、灯台表、作業用具		
4.20.5	ライフラフトの点検証明		
6.01.2	乗員の30%以上（かつ2名以上）のWorldSailing認定サバイバルトレーニングの受講の証明		
6.04	1年以内に落水者救助訓練と艇体放棄訓練を実施している（内容を4ページ目に記載ください）		
6.05.2	1名以上の乗員が5年以内に応急処置のトレーニングを完了した証明		
船内のレイアウト			
3.29.1	搭載された無線機の種類に対応した非常用アンテナ		
3.29.5	グラブバッグに収納された防水のハンディVHFトランシーバー		
3.29.6	2台目の無線受信機（ハンディ機でも可）		
4.08	応急処置マニュアルと救急箱		
4.09	フォグホーン		
4.22.1	各乗員に個人用AIS乗員落水信号発信機もしくはPLB（携帯用位置指示無線標識）		
4.23	信号焰 ・信号紅炎2つ 有効期限： _____ ・小型船舶用自己発煙信号1つ 有効期限： _____ ・小型船舶用火せん4つ 有効期限： _____ _____ _____ ・発煙浮信号2つ 有効期限： _____ _____ ・パラシュートフレア4つ 有効期限： _____ _____		
5.01.1	以下を備えた乗員分のライフジャケット 搭載数： _____ ライト、笛、艇名もしくは着用者の記名、股紐か腿紐とハーネス、スプレーフード		
5.01.2	ライフジャケットの予備ボンベ		
5.01.3	5.01.1を満たす予備のライフジャケット		
5.01.4	ライフジャケットの点検 実施日： _____		
5.02.1	規定を満たした乗員分ハーネス 搭載数： _____		
5.02.2	規定を満たした乗員分のテザー 搭載数： _____		
5.02.3	（自己閉鎖フックと過負荷インジケーターを有する）		

グラブバッグ			
4.21	グラブバッグ（持ち出し袋）		
艇体			
3.06	2つ以上の出口、1つはマストより前方にあること		
3.10	喫水線より下部の艇体を貫通する開口すべてにシーコックまたはバルブ		
3.12	キールに載せられたマストヒール（マスト下端）の強固な固定		
3.18.1	恒久的に取り付けられたトイレ		
3.19.2	恒久的に取り付けられた寝台		
3.20	恒久的に取り付けられた炊事用コンロ：燃料の遮断が可能であること		
3.21.1	恒久的に取り付けられた飲料水の供給ポンプとタンク 搭載する水の量：_____L		
3.22	デッキ下に適切に設置された手すり		
3.27.4	航海灯の予備電球（LEDの場合は不要）		
3.28.4	エンジンまたは発電機の始動専用のバッテリー （もしくは手動の始動装置）		
3.29.2	マストヘッドアンテナを備えた25W以上のDSC機能付きVHF		
3.29.13	AISトランスポンダー		
4.03	軟木の木栓		
4.05.1	すべての炊事設備の付近に消防カバー		
4.05.3	異なる箇所に設置された2個の消火器：2kgの粉末式または同等品		
4.12	安全備品配置表		
操舵者の手の届く位置に設置、もしくはすぐに展開できる			
4.19.1	EPIRB、救助機関に登録されていること		
4.19.4			
4.22.2	落水者の位置を10秒以内に記録できるGPS		
4.22.3	規定を満たしたライフブイ2式： 自己点火灯、ホイッスル、ドロークを備える		
4.22.4	うち1式はポールと旗を備える		
4.22.7	規定を満たしたヒービングライン		
4.22.8	規定を満たしたリカバリースリング		
4.25	規定を満たしたコックピットナイフ		
デッキ上に収納、もしくはすぐに展開できる			
3.08.4	コンパニオンウェイハッチのせき止め器具、艇に固定されていること		
4.06.2	2組のアンカー、5分以内に使用可能であること		
4.07	フラッシュライトとサーチライト、予備のバッテリー		
4.20.1	全乗員を収容可能なライフラフト		
4.20.3	ライフラフトの荷姿と収納方法は規定を満たしている		

全般			
2.04	OSRの要求する全ての装備はすぐに使用でき、適切に機能し、有効期限内であること		
2.04.2	重量物は恒久的または強固に固定されている		
3.02	艇体は完全に水密であり、すべての開口部は即座に水密を確保することができる		
3.08.5	オープンコックピットの場合、コンパニオンウェイの敷居の高さはシアーラインより高い位置である		
3.14.1	規定を満たしたライフライン		
3.17.1	規定を満たした高さ25mm以上のトーレール		
3.21.3	非常用飲料水：専用の容器に入って9L以上		
3.23.1 a)	バケツ2個：ラニヤード付きで9L以上の容量		
3.23.1 b)	2つの手動ビルジポンプ： 1つはデッキ上、1つはデッキ下で操作可能である		
3.24 b)	磁気コンパス（電気を必要とせず、恒久的に取り付けられている）		
3.24 c)	2個目のコンパス（手持ち式または電子式でもよい）		
3.27.1	規定を満たした航海灯		
3.27.3	上記とは別の電気系統である予備灯		
3.28.3	5時間以上の機走に十分な燃料		
4.01.2	セール非掲揚時にセール番号を表示する代替手段		
4.04.2	デッキの両舷に独立したジャックスティ		
4.04.3	ジャックスティに頼らず乗員の2/3がクリップできるクリッピングポイント		
4.10.1	規定を満たしたレーダーリフレクター		
4.13.1	ノットメーターまたはログ		
4.13.2	水深計		
4.15.1	ティラーが金属製でない場合は非常用ティラー		
4.15.2	ラダーが使用できない場合の非常操舵方法の証明 (内容を4ページ目に記載ください)		
4.17	全ての浮力のある備品に艇名が記載されている		
4.26.1	4.27.2を満たすストームトライスル、またはラフ長の50%以上をリーフ可能なメインセール		
4.26.2	4.27.3を満たすヘビーウェザージブ		
4.26.3	4.27.4を満たすストームジブ		
4.30	定格容量200L/分以上の非常用ポンプ		

インスペクター使用欄		
署名	楷書で氏名	日付

キールとラダーの検査のレポート

実施日時：

点検者：

実施内容：

気づき：

その他：

落水者救助訓練のレポート

実施日時：

天候/海象：

実施内容：

気づき：

その他：

艇体放棄訓練のレポート

実施日時：

天候/海象：

実施内容：

気づき：

その他：

ラダーが使用できない場合の非常操舵方法の証明

※写真を添付し説明すること